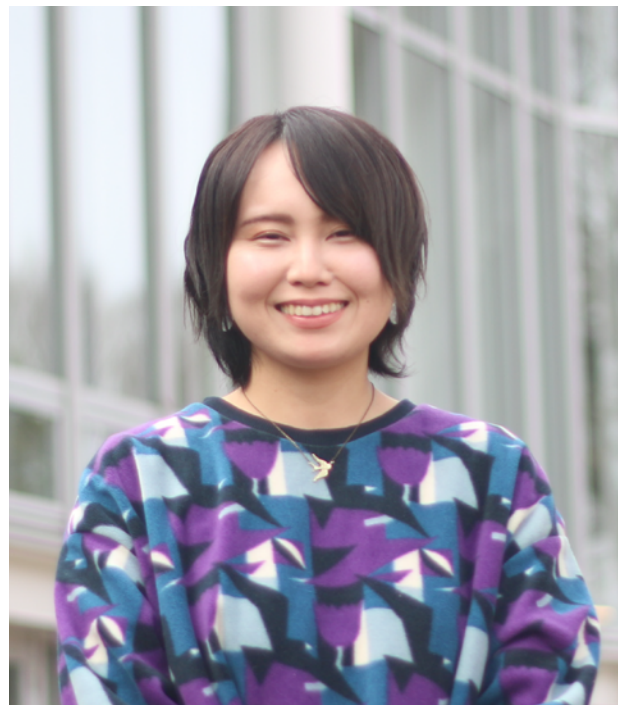


移住3年、鈴なりに恵まれた縁に感謝



グラフィックデザイナー / イラストレーター

しみずな
清水すす菜さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.187

みの〜れ周辺の大きな木々が芽吹く季節がやってきました。小鳥のさえずりや優しい風が心地よいので遊びに来てください。今回は、皆さんが良く目にする小美玉市循環バスのラッピングデザインをはじめ、広報誌やチラシデザインなどを手がけている、小美玉市小川地区にお住まいのグラフィックデザイナー清水すす菜さん取材します。

毎日が楽しい 小美玉暮らし

静岡県浜松市で生まれ育ち、21歳でデザイン事務所に入社。結婚して青森県三沢市で暮らし、独立開業。3年前に夫の転勤で小川地区に移住して来ました。「子どもたちが寝静まってから起きるまでが私の仕事をする時間」と嬉しそうに話し、4歳と生後8ヶ月の2人の子育てと大好きな仕事を小美玉市で楽しんでいきます。

市内を走る循環バスのかわいらしいラッピングデザイン、広報おみたま4コマ漫画連載、小美玉観光協会ブランドデザイン、Myuミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」チラシデザイン、小美玉さくらフェスティバル2023チラシデザインなど、次々依頼が舞い込み、多くの人に親しまれています。

幼稚園の頃から絵を描くのが好きだったという清水さんは「3歳の頃にうまい、うまいと褒めてもらったことを鮮明に覚えています。自分が親からたくさん褒めてもらえたように、子どものこともたくさん褒めています。今も仕事でずっと描いているのでとにかく楽しい毎日です」とっこり。

チラシなどのデザインは「打ち合わせしているうちにキーワードが浮かび上がってきて、イメージがどんどん膨らんでいきます。気づくと完成しています」という天才肌。小美玉市に移住してからのくさんの出会いがあり、世の中に作品を送り出してきた清水さんは「私って小美玉で生まれたのかなって思うくらい恵まれています」と微笑む。17年ぶりにリニューアルする「おみたマガジン」のデザインも担当。今から完成が待ち遠しいです。

小美玉さくらフェスティバルでは、チラシデザインと地域通貨「アーツ」デザインを手掛け、イベント運営にも協力。デザイナーの仕事を手伝うもたちが楽しく体験できるよう、オリジナルキャラクターの一部を清水さんが段ボールや紙で手作りし、子どもたちがコラージュして遊べる体験企画を出店。用意した110セットがイベント終了前に全て完売する盛況ぶりでした。「こういう体験を子どもにさせたかった」と語る親御さんの声が嬉しかったという清水さん。「また出店したいです」と語ってくれました。

すす菜さんのすずは「鈴なりにたくさん友達ができるように」という両親の願いが込められています。そのとおりに友達や仲間やファンがたくさんいて楽しく小美玉で暮らしている清水さん。これからも楽しい小美玉暮らしをデザインしてください。

(藤田佐知子)